

オープンサイエンス推進に向けた大学 図書館と学内諸組織の連携について

杉田茂樹（京都大学附属図書館）

sugita.shigeki.5c@kyoto-u.ac.jp

第3回 研究開発イノベーションの創出に関わる
マネジメント業務・人材に係るワーキング・グループ

2/26（月）13:00-15:00

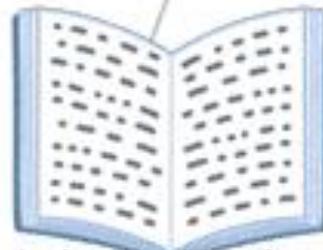
よりリアルタイムで、より広汎な交流へ



Scuola di Atene
(Raffaello Sanzio da Urbino)
賢者が学堂に集まることで、
学術交流が完結する理想郷

印刷術に対するキラーア
プリケーションとしての
学術雑誌の誕生 (1665)

世界の拡大



生み出された知識が図書、
論文等の形に**パッケージ
ング**され世界に流通

電子情報通信を活用した
新たなコミュニケーション
手法への試行錯誤

いま
ココ



パッケージングを前提とし
ない**オンライン・リアルタ
イムコミュニケーション**へ



印刷術
(15世紀)



電子情報通信
(20世紀)



大学図書館のおおざっぱな現代史

令和

- 情報流通の総コストが「購読料」で賄える限界を突破
- 商業出版の収益目標が図書館資料費から研究費へ

平成

- インターネット利用の普及
 - 電子ジャーナルの隆盛
 - 研究環境は劇的に向上、新着雑誌架は閑古鳥
 - **オープンアクセス思潮の誕生**

昭和

- 外界で流通する紙出版物（図書・雑誌）の集積地点
- 図書館 = 知識受容の拠点

情報流通の量とスピードへの要求

オープンアクセス／オープンサイエンスに向けた大学図書館のこれまでの取り組み

- 読者としての研究者に向けた支援業務
 - 蔵書構築・供用
 - 全国コンソーシアムによる電子ジャーナル購読の契約条件交渉
- 著者としての研究者に向けた支援業務
 - 執筆論文のオープン化のためのサーバ構築（「機関リポジトリ」）

研究の始点

研究の終点

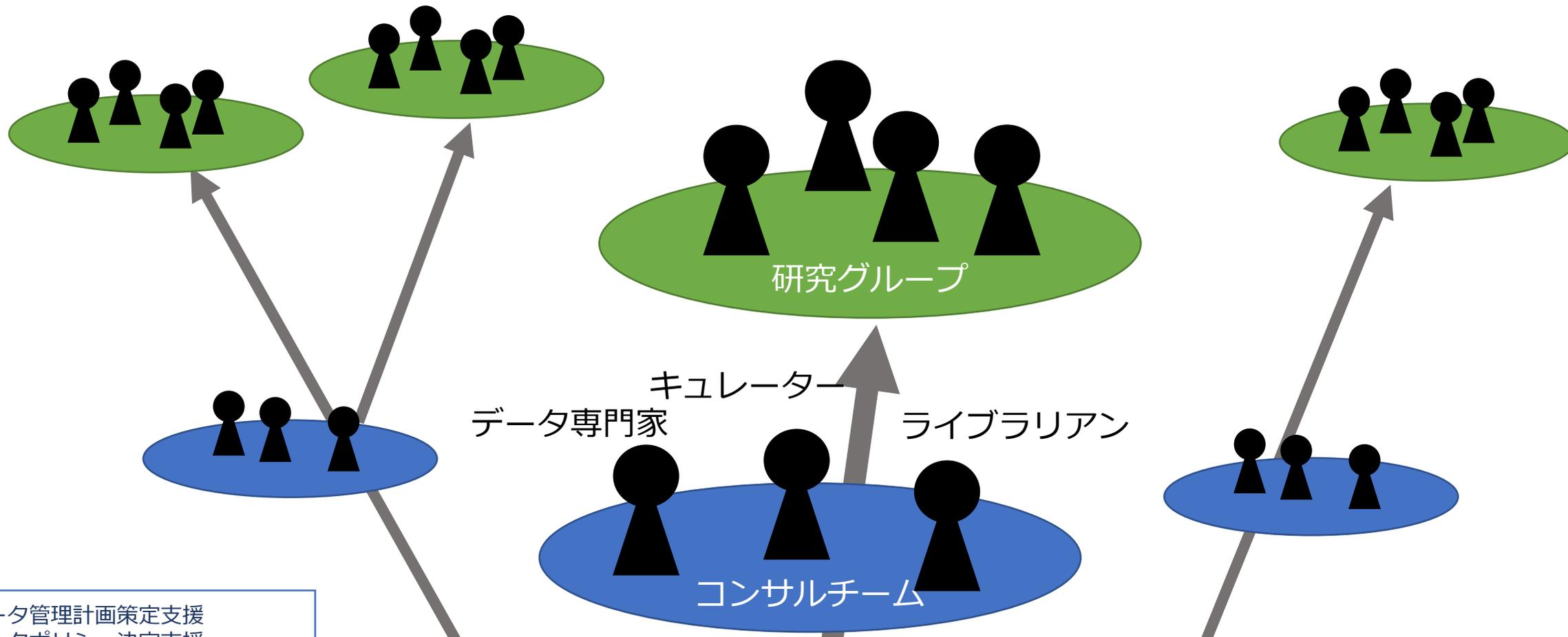
先行研究調査に必要な蔵書整備・供用
(含、電子ジャーナル)

成果論文を機関リポジトリに収載し
OA化に寄与

オープンアクセス／オープンサイエンスに向けた大学図書館のこれまでの取り組み

- 読者としての研究者に向けた支援業務
 - 蔵書構築・供用
 - 全国コンソーシアムによる電子ジャーナル購読の契約条件交渉
- 著者としての研究者に向けた支援業務
 - 執筆論文のオープン化のためのサーバ構築（「機関リポジトリ」）





- データ管理計画策定支援
- データポリシー決定支援
- データ管理システム選定・設定
- メタデータ形式決定
- オープンアクセス化サポート
- ：

課題発見・解決
ノウハウ蓄積 = スキル獲得

データ運用支援基盤センター
+ 情報環境機構、図書館機構、ほか関係部局等

(話者の課題意識)

- 物理的空間、物理的蔵書に係る膨大な現業業務の存在
- 前時代的な出版流通体制を前提とした「オープンアクセス／オープンサイエンス」の限界
 - 電子ジャーナル＝紙媒体学術雑誌の模倣
 - 機関リポジトリ＝抜刷交換の模倣
 - 新たな大学発のパブリッシングの可能性を模索するべきときでは